

往古来今

おうこらいこん

積み重ねてきた日々を明日につなげる。



3時05分

福岡駅前交番でパトロールに出ようとする警察官の皆さん。「事故や事件が起きたらすぐに出ますので」と取材中も気を抜く様子はありませんでした。



4時30分

路地を縫うようにバイクで走り、新聞を配達しています。この日は雨の気配があり、新聞はビニールに包まれていました。

「お客さんが楽しめるパンを作るため、日々試行錯誤の繰り返しですね」とパン工房麦の香りで働くパン職人の斎藤祐介さん。できたてのパンを届けるため、朝早くから昼過ぎまで手作業で成形を続けるそうです。



5時20分



2時00分

もしもに備えて待機する宗像地区消防本部福岡分署の皆さん。「市民の安心のため、昼夜がんばってます」と救急救命士の安部彰伸さん（写真右から3番目）。



1時05分

終電後の福岡駅改札口前。「誰もいないことを確認しシャッターを閉めます」と駅員の徳富大樹さん。



0時00分

12月1日、日付が変わったばかりの宮地嶽神社。月の初日には、深夜にもかかわらず「ついたち参り」に参拝する人で境内があふれます。商売繁盛を願い、毎月訪れるという人もいました。



わたしたちの福津。

24時間を通して見てみた

まちは眠らない。

昼も夜も

誰かが寝ているとき、誰かが起きている。

このまちは眠らない

福津 24時間

それがまちに命を吹き込む。

出会ったり、別れたり。

仕事をしたり、遊んだり、学校に通ったり

絶えることない時間のつながり。

1日24時間、1年365日。



新成人に聞く
20歳の抱負
成人式を間近に控えている新成人の皆さん。20歳を迎えるの抱負を自由に表現してもらいました。

